



上川井だより

4月号

平成29年4月5日
横浜市立上川井小学校
校長 山田 アイ子

「3年目の思い…」

学校長 山田 アイ子

3月18日、春の暖かさと在校生や教職員、保護者の皆様、地域の皆様の温かい気持ちに包まれて、22名の卒業生が上川井小学校を巣立っていきました。涙、涙の卒業式でしたが、式後の記念写真には、飛び切りの笑顔で写っています。中学校でも上川井小学校の卒業生であることに誇りをもって、感謝の気持ちを忘れずに歩いてほしいと心から願います。

そして、今日、4月5日、新一年生13人を迎え、全校児童136人で平成29年度がスタートしました。新しく4名の教職員を迎え、私自身も新たな気持ちで3年目の学校経営に尽力します。

平成29年度も、昨年度に引き続き、「学力向上」と「地域の中で学ぶ」の二つを学校経営の目標にして努力していきます。「学力向上」については、家庭学習の習慣化を図るとともに、基礎・基本の定着を目指して「上小 Homework」を全学年で取り組んでいきます。毎日、提出することが難しい子をどのように支援していくかが課題の一つです。「上小 Homework」に限らず、「やらなくてはいけないことは、必ずやる」ことの大切さを、しっかりと指導していく必要があります。ただ、やる気持ちはあるけれど、どのように進めたらよいか分からないからできない…という子どももいます。その子どもたちへの支援も必要です。

また、一日の「上小 Homework」の量は少なくとも、毎日毎日「続ける」ことで身につけていくもの、積み重なっていくこともあります。「ちりも積もれば山となる」「雨だれ石を穿つ（うがつ）」のように、日々の積み重ねを大切にしていきたいと考えています。

さらに、平成29年度は「上小チャレンジカップ」を始めます。名前を聞くと、何かのスポーツ大会のようですが、スポーツではありません。月に一度、それまでの「上小 Homework」のまとめの力試し問題に、全学年が日時をそろえて、一斉にチャレンジします。一人一人が自分の目標を設定して取り組むなど、算数が苦手な子どもたちも、楽しみながらできるように工夫していきます。

「地域の中で学ぶ」については、昨年度以上に地域とのつながりを大切にして、丁寧に取り組んでいきます。中でも11月25日（土）に実施する地域防災訓練に学校が参加することは、新しい取り組みです。防災拠点委員会の皆様にも、児童参加の趣旨をご理解頂きましたので、まずは、「防災に関心をもつ」を目標に「地域学校防災の日」として、意味のある取り組みにしたいと考えています。

本校は明治13年に「上川井学校」としてスタートし、都岡小学校の分校時代を経て、昭和44年に横浜市立上川井小学校として独立し、平成30年度に創立50周年を迎えます。地域の中で大切にされ、たくさんの思いが詰まっている上川井小学校であることを伝えられる50周年になるように、今年度から少しずつ準備をしていきたいと思っています。

子どもたちにとって、学校は楽しい場であると同時に、学校は子どもたちの思いを大切にし、一人一人に寄り添いながら、成長を見守っていく場でありたいと心から思います。教職員一同、心をつなげて取り組んでいきます。

どうぞ、平成29年度も、ご支援、ご協力を頂きますようお願い申し上げます。